

郵便の良さ、再確認。



船の郵便展



2007年

10月25日(木)～11月4日(日)



開館時間：午前10時30分～午後5時

休館日：10月29日(月)

会場：3階特別展示室〈スペース1・2〉

観覧料：大人300円、小中学生150円

障害者無料 (各種手帳をご提示ください)

切手の博物館
(東京・目白)

①日枝丸の船内郵便局が取り扱った郵便物(1937年) 個人蔵

②船内郵便局が開設(1910～30年)された天洋丸 日本 1976年発行 切手の博物館蔵

③スペインの郵便船(18世紀)と郵便物(1851年) キューバ 2000年発行 個人蔵 *①～③は115%拡大

船の郵便展

2007年 10月25日(木)～11月4日(日) *10月29日(日)休館

会場：3階特別展示室〈スペース1・2〉

観覧料：大人300円、小中学生150円

障害者無料（各種手帳をご提示ください）

郵便事業は、国家や人々の信頼と協力によって成り立ち、文化や産業の架け橋となっています。近代では、外国とのコミュニケーション手段の主たるものと位置づけられていました。特に、外国への郵便物の輸送には船が利用され、船の性能の向上、航路の整備と充実につながりました。本展では、各種郵便船の活躍、船に開設された郵便局の活動、国際的な郵便交換条約の存在などを、関係する郵便切手や郵便物で紹介します。



上段：インドのマドラスからフランスのポルドーに、イギリスの郵便船で運ばれた郵便物（1861年）。イギリスとフランスの郵便交換制度で決められた印が押され、実際の送料15サンチームが着払いで支払われている。

下段：蒸気船アウラ号が運んだ、スウェーデンからフィンランド宛ての郵便物（1868年「オーボ経由アウラ号にて」の注意書きあり）。スウェーデンの紋章圖案切手が、フィンランドの都市オーボで消印されている唯一の例。

※いずれも個人蔵 50%縮小

ギャラリートーク：11月3日、4日開催

両日ともに午後2時 会場にて

展示協力

秋吉誠二郎、小坂彰宏、志垣雅文、谷信勝、村岡安廣、山口純一（五十音順 敬称略）

日本郵船歴史博物館、船の科学館

切手の博物館 展示のご案内

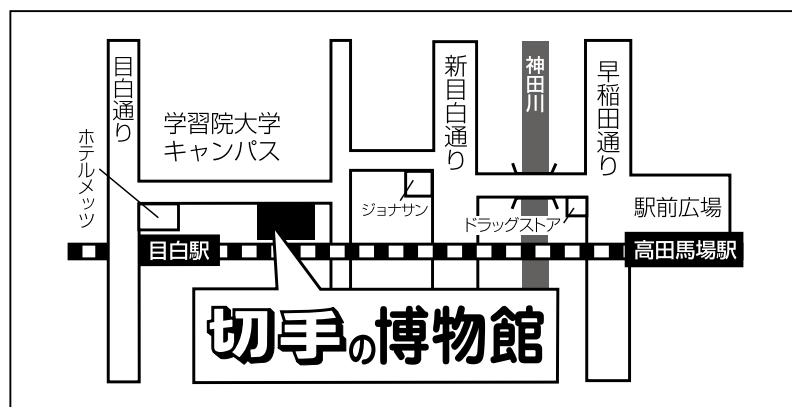
「カワイイ切手・たのしい郵便」展

2007年10月4日(木)～12月25日(火)／月曜休館（12月24日は開館） 会場：1階企画展示室

切手は、思わず魅せられてしまう小さくてカワイイもの。ちょっとしたアイデアが添えられた郵便も特集します。雑貨好き、絵本好きにも人気の切手がいっぱいです!!



“おめでとう”の手紙を配る郵便配達人（フランス1997年発行）



交通案内

- JR山手線目白駅より徒歩3分
- 高田馬場駅（JR・東京メトロ東西線・西武新宿線）より徒歩7分
- 障害者の方は専用駐車場がございます

財団法人 切手の博物館

〒171-0031 東京都豊島区目白1-4-23

TEL 03-5951-3331

FAX 03-5951-3332

<http://yushu.or.jp/museum/>

開館時間：午前10時30分～午後5時

休館日：毎週月曜日

入館料（1・2階）：大人200円、小中学生100円

障害者無料（各種手帳をご提示ください）

- 毎月23日の“ふみの日”は入館無料。
- 団体料金10名以上で1名20円引き。
- 「船の郵便」展とは別料金です。